

迎古夢旅 4674 : 巡礼の道・終着地・パラドール P199



巡礼の道、終着地・**サンティアゴ・デ・コンポステラ**。

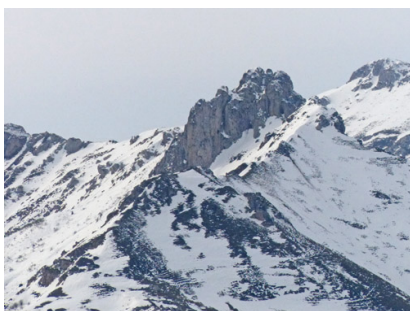
日が暮れて到着。**パラドール・サンフランシスコ**宿泊。ピンからキリ、何事も実体験。
収穫大。大変勉強になった。昼間の街の雰囲気は、迎古夢旅 **4640**。

西暦 813 年、キリスト十二使徒の一人、聖ヤコブ（スペイン語はサンティアゴ）の墓を発見、伝説は、パレスチナで処刑された遺体が二人の弟子と共にガリシア州に流れ着き、その後、変遷を経て、この地がキリスト教の聖地になった。

ローマやエルサレム同様、世界各地から多くの人々が、罪の赦しを得るために、星降る道、銀河の道を進み、サンティアゴ・デ・コンポステラへ。
世界遺産のサンティアゴ巡礼の道は、精神的、文化的、かつ歴史的に意味合いを持つとの事。

太陽と星に導かれて大地を移動する人々の流れを、詩人ダンテは「巡礼」と命名。

7月25日の聖ヤコブの日が日曜日にあたる年には**大祭**が執り行われ、その周期は、6年、5年、6年、11年、**今回は、来年 2021 年**。前は 2010 年だった由。2021 年は、11 年ぶりになり、大いに盛りあがるのではないかとされている。



巡礼者は、自分自身を見つめるために旅に出るとの事。長い道中、その思いを込めて、ヨーロッパ文化の中心であるサンティアゴ・デ・コンポステラの聖ヤコブの祭壇に向けて歩き続ける。**結果、あらゆる困難に耐えて巡礼を成し遂げた者を暖かく迎える**とのこと。